

Ambassadors

# 佐藤桂菜さんと進藤実優さんが 広報大使に就任



市では、市の魅力や特産品を全国・世界に発信するため、広報大使制度を導入しています。今回の公演で、新たに佐藤桂菜さんと進藤実優さんが広報大使に就任しました。

岡村市長から就任パネルを受け取った佐藤さんは「同世代の私たちが力を合わせて大府を盛り上げていきます」と、進藤さんは「海外では、故郷を思い出すことが多いです。憧れの竹澤さんや各界の方々と共に活動できることを光栄に思います」と語りました。

2019年から広報大使を務める竹澤さんは「クラシックを楽しむ人や学ぶ人が増え、『音楽のまち』が育まれていると実感しています。同じ思いを持つお二人と一緒に活動できることを心強く思います」と語りました。

プロフィールの詳細はこちら



Cellist  
佐藤桂菜

2000年生まれ。ウォールナットヒルスクール・フォーアーツ、ニューイングランド音楽院プレパトリー、ジュリアード音楽院で学び、コルバーン音楽院大学院を全額奨学生として修了。現在はモーツァルトウムで研さんを積む。全日本学生音楽コンクール大学の部第1位、NHK会長賞など受賞。国内外で演奏活動を行っている。



Pianist  
進藤実優

2002年生まれ。第19回ショパン国際ピアノコンクールファイナリスト。ヴィーゴ市国際ピアノコンクール第1位・聴衆賞、ピティナ・ピアノコンペティション特級銀賞・聴衆賞など多数受賞。NHK-FM「リサイタル・パッション」などに出演。現在、ハノーファー音楽演劇メディア大学に在籍し、アリエ・ヴァルディ氏に師事。



Violinist  
竹澤恭子

桐朋女子高校在学中に日本音楽コンクール第1位を受賞。1986年インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール優勝。ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、ボストン響・シカゴ響・ロンドン響など世界の主要オーケストラと共演。教育活動や国際コンクール審査員としても活躍。

55th

市制55周年記念  
スペシャルコンサート



Pianist  
進藤実優

Violinist  
竹澤恭子

Cellist  
佐藤桂菜

2月22日に開催した市制55周年記念スペシャルコンサートでは、世界を舞台に活躍するバイオリニストの竹澤恭子さん、チェリストの佐藤桂菜さん、ピアニストの進藤実優さんの3人と、セントラル愛知交響楽団、指揮者の角田鋼亮さんによる演奏が披露されました。

第1部はそれぞれの独奏が光るプログラム。第2部では、ベートーベンが残した唯一のチェロを伴うコンチェルト『バイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲 ハ長調Op.56』を披露し、会場を埋め尽くした観客は重厚な響きに酔いしれました。

ヴァルトウオーゾ：イタリア語で音楽・芸術分野で  
卓越した技巧・感性を持つ演奏家を示す



Special  
音楽祭の映像を  
YouTubeで公開中



## 進藤実優さんへ文化芸術特別賞を贈る

2025年10月にポーランド・ワルシャワで開催された「第19回ショパン国際ピアノコンクール」でファイナリストに選出された功績をたたえ、岡村市長が進藤さんに「大府市文化芸術特別賞」を授与しました。

進藤さんは「前回より高い結果を残せたことは、自分の成長の証だと思っています。これからも日々の努力を惜みず、頑張っていきたい」と語りました。

